

231217 湖東圏域河川整備計画（変更素案）住民説明会 議事概要

日 時：令和 5 年 12 月 17 日(日) 10 時～12 時 10 分

場 所：プロシードアリーナ HIKONE 多目的ホール

参加者 合計 38 名

■河川整備に関する発言

矢倉川の河川整備について

・河川整備に伴い左岸堤防を切り下げる計画となっているが、現在の高さを維持してほしい。

→護岸の形状等を検討する段階で、地域住民の方々と協議しながら進めていきたいと考えている。

・名神高速道路上流の市道橋は、整備実施区間に含まれるか。

→名神高速道路は整備実施区間に含まれていない。市道橋の拡幅要望への対応については、管理者である彦根市と現状について確認する。

・川が氾濫しても下流側が守れるよう、上流域の未利用地に遊水池を検討されたい。

→今後、様々な工法がある中で、詳細を詰めていきたいと考えている。

・堤防より低い橋梁があり、架け替えをお願いしたい。

→橋梁管理者と基準に適合するよう検討していきたい。

芹川の河川整備について

・現在、下流の一部の法面で堤防補強しているが、今後のどのように計画しているのか。

→堤防全体の状態を確認し、対策が必要な箇所を選定し、工事を行っているところ。昨年度は左岸で遮水シートを、今年度は右岸でドレーン工（排水工）を設置しており、今後も継続して工事を行う予定。

・下流側で実施している浚渫の河床の高さはどのように計画しているのか。

→既存の護岸ブロックに影響を与えないよう現地の状況を確認し、河床の高さを設定している。

・護岸に階段等を設置するなど親水性に配慮した整備について検討してほしい。
→今後、検討する過程で地域住民の方々と協議しながら進めていきたいと考えている。

・過去はダムありきで芹川は計画されていた。積極的な整備推進をお願いしたい。(意見)

平田川の河川整備について

・起点付近は流量が少なく環境が悪いため、さらに上流まで整備してほしい。
→上流においては、流下能力が十分確保されていることから、計画区間には位置付けていない。なお、維持管理については、地域の皆様と協力しながら、引き続き取り組んでいく。

・調節池はどのあたりに検討しているか。
→平田橋から近江鉄道までの間で調節池を設置すると効果があると把握している。調節池の詳細な計画については、今後、彦根市や地域住民の方々と協議しながら、検討していきたい。

・調節池の堤防高はどれぐらいを考えているのか。
→現時点で、調節池の堤防高については、現況の河川と同等程度と想定している。

野瀬川の河川整備について

・整備実施区間の上流側は、堤防が低い箇所や時間雨量50mm程度で越水する状態であるが、今後のどのように計画しているのか。
→今回の計画変更において、整備実施区間の上流域を整備時期検討区間に位置付け、検討を進めていく。

湖辺域（彦根松原、大藪浜）の整備について

・湖辺域の整備については、どのように計画しているのか。
→彦根松原地区については、現在の直立護岸を解消し、親水性のある計画とする予定。大藪浜地区については、具体的な計画は未定であるが、砂浜の侵食が懸念されるため、突堤等を検討していく。

河川整備について

・整備実施区間を整備するのに何年かけるのか。
→河川整備計画は概ね20年間の計画であり、その期間内に整備を実施していく。

・今後の策定手続きのスケジュールは。
→「国土交通省に変更認可の申請」は令和6年末、「河川整備計画（変更）の認可」

は令和7年3月頃を目指している。

■その他

芹川について

・下芹橋の取付け護岸にある水位表示が雑草が繁茂し、隠れていて見えない場合がある。橋梁下部に直接明示することも検討してほしい。

→現地を確認する。

・昨年度伐採を実施された大堀橋の上流右岸について、氾濫抑制のため、土砂撤去をお願いしたい。

→点検や現地を確認し、必要であれば対策を行いたい。

・中藪橋の水位計はウェブ上で公表されているか。

→確認する。

[後日確認の結果、彦根市の災害監視カメラであることが判明し、画像データは公表していないとのこと]

平田川について

・防災上の観点から、河川改修に合わせ、右岸側から左岸側にある避難場所（金城小学校）へ、安全に渡れる橋を架けてほしい。

→河川管理者が新規で橋を設置することはない。設置にあたっては管理者が必要であり、地元の要望をもって市等と協議を進めていくこととなる。

維持管理について

・現況河川の浚渫をお願いしたい（意見）。

以 上